

ミハイル・レオニドヴィッチ・グロモフ

ミハイル・レオニドヴィッチ・グロモフは1943年12月23日にソビエト連邦のボクシトゴルスクに生まれ、1992年にフランス国籍を取得した。

グロモフは1982年以来、フランス、ビュレスユール＝イヴェットの高等科学研究所の永久教授の地位に就いている。フランス高等科学研究所は数学、理論物理学その他の関連する科学の分野の高度な研究のための研究所で、極めて優れた才能のある科学者が、教育や組織運営の義務を離れ、研究に専念できる場として設けられている。グロモフは、科学評議会の推薦を受けて所長に任命される、五人の永久教授の一人である。永久教授は、そのキャリアの早い段階で募集され、終身職として任命されるものである。

ミハイル・L・グロモフは、現在ニューヨーク大学、クーラント数学研究所において、数学のジェイ・グールド教授でもある。

ミハイル・L・グロモフは数学の多くの領域への重要な貢献によって知られている。アーベル賞選出委員会は、グロモフを、「幾何学への革命的な貢献」において認識し評価した。現代数学に多大な影響を及ぼしてきたグロモフは、今日も極めて活動的且つ革新的であり続けている。

グロモフはレニングラード大学から修士号(1965)、博士号(1969)、ポストドクター論文(1973)を取得した。彼の博士論文指導者はヴラジーミル・A・ロクリンであった。1967年から1974年までグロモフはレニングラード大学助教授であった。グロモフは1974年にソビエト連邦を去り、ニューヨーク州立大学ストーニブルック校の教授になった。1981年にパリ第四大学に移り、翌年フランス高等科学研究所の現職に就任した。1991年から1996年まで、彼はメリーランド大学カレッジパーク校の数学の教授でもあった。

ミハイル・L・グロモフは、京都賞基礎科学部門(2002)、バルザン賞(1999)、研究領域への根本的な貢献に対するルロイ・P・ステイール賞(1997)、ロバチエウスキー・メダル(1997)、ウォルフ賞(1993)、アシュランス・ド・パリ賞(1989)、エリー・カルタン賞(1984)、オズワルド・ヴェブレン賞幾何学部門(1981)、モスクワ数学会賞(1971)を含む、数々の際立った国際的な賞を受賞している。2004年には、グロモフにはフレデリク・エッサー・ネマーズ賞数学部門が授与された。また彼は2005年にハンガリー科学アカデミーからヤーノシュ・ポーヤイ賞を受賞した。

グロモフは、ニース(1970)、ヘルシンキ(1978)、ワルシャワ(1982)、バークレー(1986)での国際数学会議における招待講演者であった。彼は米国立科学アカデミーと米国科学芸術アカデミーの外国人会員であり、フランス科学アカデミーの会員である。彼にはジュネーブ大学から名誉博士号も授与されている。